

国家検定 2級技能士 第19回論述 模範解答例

全体解説（注）解答行数は変更前の3行を念頭に書いております。これからそこは調整します。
今回から解答スペースに外枠が設けられ、より厳密に所定の枠（3行又は6行）に適切に書くことが求められている。
要は量を多く書くのではなく的確に回答の要点を掴むことが求められる。また、今回は再雇用、再就職、転職打診と馴染みが少ない方には考えることが難しかったと思える。更に逐語を読むと、明らかな相談者の内在する問題（問2）が見つげにくい。**一見述べていることは至極当然と読めるところが、この論述の問題を難しくしている**（問題作成者の意図が見える）。このことから単にキャリア定番用語を盛り込めば解答になるような安易な方法が通用しなくなっている。**論述を本当に理解して論理的に一貫性を持って記述することがますます重要になる。**以下の解答例はNeoキャリア支援塾の論述考え方の基本で適切に解答できています。**この考え方を身に付ければ、30分で書くことが固まります。**

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何か記述せよ。（20点）

解答例

定年が近く、働き続けたいと思い再雇用、再就職、転職打診で迷う。再雇用や再就職は給与も半減し、いろいろ割り切れない。一方、打診されている2年契約の海外プロジェクト（赴任）は経験もありよい話だが、妻に話したら親の介護の心配もあり反対され、さらに迷いが深まっている。

解説：

黄色の部分が相談者が相談したいコアの部分、緑の部分がその内容を具体的に説明しているもの。いずれにしても3行130文字以内にまとめることがポイント。解答例は130文字。

著作：Neoキャリア支援塾

問2 CCとしてあなたが考える相談者の「問題」は何か記述せよ。(20点)

解答例 3行126文字

私が考える問題は、CLの迷いは従来と同じ価値観で仕事をやりたい気持ちと家族の反対という構図で考え、これからの家族とセカンドライフを年齢に合った価値観で一から考える視点が欠けている。その結果、再雇用や再就職に対し思い込みも多く十分に検討する行動が欠けている。

ヒント：問2の問題を見分ける条件3つあります。これが分かれば問2は迷わず解答できます。

解説：何故こう考えられるか逐語からの根拠

- ・これまでと同じような働き方を続けたいと思う。▶従来と変わらない価値観
- ・最初は深く考えず再雇用制度で継続しようと思ったがネガティブな面だけで割り切れない▶深く考えていない
- ・再雇用で働いている人を見るとあまり元気がなく割り切れない思いがある▶思い込み
- ・会社としても本当は辞めて欲しいのかなという空気を感じる▶思い込み。
- ・どちらを選択しても給与は半分くらいに以下に下がる▶思い込み。すべてそうとは言えない
- ・妻に・・・と言われてしまい。せっかくの良い話が舞い込んだのに・・・▶従来と変わらない構図
- ・関係先の会社の役員で迎えられる友人を気楽でうらやましいと思っている。▶従来と変わらない価値観

問3 ① 解答例 3行108文字

私が考える相談者の問題（問2）が相談者の迷い（問1）の主な原因と考え、その原因を解消することをまず取り組むべき目標とおく。更にその上で最終的に相談者が自らの判断で迷いを払拭できるまで援助をすることを今回の相談の目標とおく。

ヒント：問1と問2を合わせて目標を考える。その原因と結果としての現状の関係をとらえることがポイント

問3 ② 解答例 6行256文字

上記の目標を達成する為に次のステップを順に行う。1) CLがCCの言葉に耳を傾け気づきを意識する為の、信頼関係をまず強化する。2) 今後10年は働く時代になることを説明し長期視点の大切さに理解を促す。3) 体力や家族の変化を考えると従来と同じような価値観ではいけないことの理解を促す。4) その上で今後の新たな価値観を何に置くかを一から見直す必要性の理解し考える。5) 以上の結果、目先の2年の仕事だけでなく新たな価値観で全ての選択を再考を促す。以上を行った上で自らの判断で迷いを払拭することに別の障害があればそれも解決支援する。

ヒント：問3の目標に対する具体的な方策とは、あなたが実際に実施できる方策を考える。
無理やりにとって付けたような知識を披露するものではない。